

＜ 今日の説教のポイント 出エジプト記 18章 1～27節 ＞
イスラエル人と異邦人の中で起こった興味深い2つの出来事。

1 旧約聖書はイスラエルが異邦人と戦いばかりしていた話ではない。

直前の個所はイスラエルが異邦人アマレクと戦った話でした。しかしその直後の話はイスラエルがモーセの妻のしゅうとを通して異邦人ミディアンと仲良くする話です。旧約聖書はイスラエルが異邦人と戦いばかりしている話ではないのであり、この話にこそ目を注いで、神様がなされることを見つめ、ることが大事なのです。

2 イスラエル人が語った話を聞いて信仰告白をした最初の異邦人。

モーセは苦境の中で異邦人ミディアンの祭司エトロの娘ツイボラを妻としました。そのことがあったが故にエトロと交わりを持ち、主なる神がエジプトからイスラエルを救い出してくれた話をする事になったのです。それによって、エトロはこの神こそが真の神であるとの信仰告白をしました。よって、これはイスラエル人がそれ以外の民に主なる神様（ヤハウエ）のことを伝道した聖書で最初の出来事です。今の異教の国日本で生きる私たちに色んなことを教え、励ましてくれる話です。

3 (9-12) 福音を聞き、喜び、信仰告白へ。まさに洗礼の原型。

モーセは、困難に遭遇したこと、しかし主なる神様が救い出して下さったことを語り(8)、それを聞いたエトロは主への信仰告白を行ったのです(9-12)。9節以下に記されている場面の描写一つ一つは、新約聖書に出て来る「心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われる」(ローマ 10:9-10)、という洗礼式の内容と同じです。

4 (13-27) モーセ、異邦人のエトロの助言を受け、それを取り入れる。

まず、起こったことがとても興味深く、かつ大事だと思います。キリスト者がそうでない人々から色々教えられることがありますし、あっていいのです。神様はそのような方法を用いられて私たちを神様の御旨に導いて下さることがある、ゆえに謙遜な者であることが大事なのです。

5 信仰に基づいた共同体の形成をこの世に本当に目指すための教え。

エトロから教えられた内容も興味深いです。モーセは神に聞く大事な役割に専念し、共同体の具体的な生活にかかわることはそれに当たる指導者を立てよ、と示されます。その分、指導者に就く者に求められる内容も大事です(21a)。これらもまた主イエスが示された、「すべての者に仕える者になりなさい」(マルコ 9:35)、の上に築かれることが大事です。